

# 一歩前に

成功への黄金律の一つは、出来るだけそうありたいと思っ自分になったつもりで、習慣づけた行動を取ることと言われています。

社会は常に進歩していく方向ですから、現状を維持するだけでは、どんなに努力をしても結果的に、取り残されていきます。

つまり、常に下り坂に向って立っていると同じことなのです。「現状維持は衰退

の始まり」とも言います。坂道をころげ落ちていく途中です。

## 現状維持は衰退の始まり

力すれば、当然目的に近づくものです。もともと人間の脳は、生

物として強く望めばそれを可能にする能力を持っている

のです。それぞれが、あらゆる知識や技術を駆使し、目的と

体策を立て（いつまでに）実行です。そして、初心を忘れずに、最初の目的を常に追求し努力

目標を仲間と討議を繰り返して、課題を一つひとつ丁寧に解決していく中で不可能が実現していくのです。

日頃から、都合の悪いことを直視し、どれだけ人自身をさらけ出せるかが本当の実力、成功の決め手です。

仲間と共に幸せと、成功を楽しみましょう。



## 自滅する選択

先週講演会に参加しました。いまもらえる5万円と、

1年後に手に入る5万円のどちらを取るかといえば、誰しもきょうの5万円を選ぼう。現在の5万円に比べて、1年後の5万円は割り引いて考えるわけ。問題なのは、

同じ「辛抱強さ」でも、直近と遠い将来とで大きな差がある点です。遠い将来については辛抱強い計画ができるのに、目の前の選択となると、急にせつちかちになってしまふ。

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

# 事務所便り

2011年6月21日 (火) NO. 202

地域から明るい未来を作ろう

登山と同じで、まず目標を定めることです。

- 一、目的と目標を明確にする
- 二、目標達成の具体的方法を明確にし実行する
- 三、目的を達成するまで、実行を中止しない

これだけ簡単なことが、実は簡単ではないのです。まず、目的と目標の区分を明確にしなければ、具体策ができません。少しでも目標に近づくための戦いが必要です。

達成できない理由、弱点を認め、批判を受入れて、具

「得する道と損する道があったなら、損する道を選ぶ」これは一般の常識と逆です。常識を疑う、反対側に真理が隠されている場合が多いものです。

「難しい仕事と易しい仕事の場合、難しい仕事を選ぶ」あえて難しい仕事を選ぶのがビジネスです。

サラリーマンではすでに生きられない時代になっています。

## ネバーギブアップ

信用は、難しい仕事をやり遂げた時に築かれます。自分自身が創るものです。そして、育てて行かなければならないものです。

難しい仕事をやり、成就させるためには絶対、最後までやり遂げることです。

我々はその日にすべてをかける。責任を回避しない。

利益が目的の会社では長く存続しないものです。目的を持った人は必ず成果を残す。成果を残せない人は、必ず目的がない場合が多いものです。

難しい仕事をやり、成就させるためには絶対、最後までやり遂げることです。

我々はその日にすべてをかける。責任を回避しない。

利益が目的の会社では長く存続しないものです。目的を持った人は必ず成果を残す。成果を残せない人は、必ず目的がない場合が多いものです。